

交通安全のポイント

令和3年4月13日
福島県警察本部
交通企画課

1 交通事故発生状況（4月12日現在の概数）

※（ ）は前年同期比

発生件数	死者数	高齢者	けが人数
846件 (-186件)	12人 (-2人)	8人 (+2人)	968人 (-287)

注：「発生件数」は人の死亡又は負傷を伴う人身事故をいいます。

2 農耕車の関与する交通事故の特徴

令和2年中、県内で発生した農耕車が関与する人身交通事故は5件で、うち1件は、高齢者がトラクターを運転中に車ごと横転して亡くなった死亡事故です。

農耕車の交通事故の特徴は

○ 単独事故

- ・ 運転操作ミスや道路環境が悪いことにより、田畑や用水路等へ転落
- ・ 農耕車は重心位置が高いため、傾斜地でバランスを崩して横転したり、自然に動き始めた農耕車にひかれる事故

○ 追突事故

- ・ 夜間はもとより昼間のトンネル内においても発生などです。

農耕車を運転する際は次の点に注意してください。

3 交通安全のアドバイス

農耕車を運転する皆さんへ

① 確実な運転操作とブレーキ連結の確認

- ・ 道路状況に応じた確実な運転を行い、特に道路横断時は十分な安全確認を行きましょう。
- ・ 道路走行時は必ず左右のブレーキを連結しましょう。
(連結しないとブレーキを踏んだ際、急旋回して転落、横転の事故につながることも)

② 安全キャブ・フレームの装着とシートベルト・ヘルメットの着用

- ・ 救命効果の高い安全キャブやフレームが付いている農耕車を利用しましょう。
(安全フレームは倒すことなく使いましょう。)
- ・ 安全フレームやシートベルトを確実に装着しましょう。
- ・ ヘルメットの着用にも努めましょう。

③ ランプ類や低速車マーク等の取り付け

- ・ 作業機をつけて公道を走行するためには、ランプ類の増設が必要です。
- ・ 農耕車に「低速車マーク」や「反射板」を取り付けましょう。



シートベルトで助かる命があります！！

～後悔先に立たず…そうなる前に、まずはシートベルトから始めましょう～